

光波長測定装置用小型波長掃引光源モジュールの開発

ミマキ電子部品(株)

所在地 東御市

資本金 7,600万円

従業員数 260名

主要事業 光部品及び高密度実装デバイスの設計、製造、販売

研究開発のポイント

【課題】

インフラ測定に適した特徴のある光ファイバセンサ(FBG)を利用した光波長測定装置は高価・大型で普及していない。

【開発概要】

市場ニーズである光波長測定装置の低コスト・小型化を達成するため、基幹部品である光源モジュールを光電気回路混載技術などの開発により改良する。

主な開発成果

- 光電気回路一体化した小型光波長掃引光源モジュールを開発したことなどにより測定装置のサイズは約1/10(体積比)になった。
- 目標コストを従来品の1/3として測定装置の改良を進めている。
- 本技術はバイタルデータ測定などに応用できることを確認した。

効果

- 展示会などに出品しPRしたことで、複数引き合いがあった。

2015年	展示会
7月	インフラ検査・維持管理展
8月	鉄道総研フォーラム
9月	センサエキスポジャパン
11月	信州ものづくりフォーラム

公益財団法人長野県テクノ財団支援事例 【浅間テクノポリス地域センター】

担当コーディネータ:湯浅正樹

参画機関

- ・長野計器株式会社
- ・長野県工業技術総合センター精密・電子技術部門
- ・国立大学法人信州大学

活用した支援制度

- ・戦略的基盤技術高度化支援事業 (H25~H27年度:経済産業省)

